

花園ラグビー場50年記念試合「50年ぶりの決勝」

高校の全国大会開催が第42回大会(1962年(昭和37年)度)から花園ラグビー場で行われて50回目となるのを記念して、50年前の北見北斗高校対天理高校の決勝戦を再現する記念試合が行われますのでお知らせします。

なお、この試合の記事が4月18日版の北海道新聞と5月15日の毎日新聞に掲載されましたので添付します。今後においても、新聞やテレビなどで取り上げていただけるとのお話がありますので随時お知らせします。

記念試合の日時などは以下の通りですが、出場される方々は当時のメンバー達を中心に両校OBが試合を行います。

◇開催日：平成25年1月5日11:00～
◇場 所：近鉄花園ラグビー場 第1グラウンド

また、試合の詳しい情報は下記のHPにも掲載されていますのでご覧ください。

東大阪市 HP

<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000009745.html>

全国高体連ラグビー専門部 HP

http://www.rugby-try.jp/game/national_convention/index.html

花園会場50周年記念試合参加者名簿

	都道府県名	部卒業期	氏名
1	北海道・北見	19	高橋 正人
2	北海道・北見	18	川原 繁夫
3	北海道・北見	17	石田 賢司
4	北海道・北見	17	稲部 弘
5	北海道・北見	15	久保 勝範
6	北海道・苫小牧	17	阿部 欣也
7	北海道・増毛	18	妻鳥 統
8	北海道・札幌	16	山田 正治
9	北海道・札幌	17	前田 潔
10	岩手・釜石	18	南村 明美
11	岩手・釜石	17	堀畑 義則
12	群馬	15	小坂 人志
13	埼玉	19	田辺 円
14	埼玉	17	吉田 弘
15	埼玉	15	尾崎 良巳
16	山梨	17	蛇岩 孝
17	東京都	15	高田 恵之
18	神奈川	17	小野 学
19	神奈川	16	中村 祐治
20	愛知	16	角屋 政雄
21	愛知	17	甲谷 昭一
22	和歌山	18	藤沢 正信
23	和歌山	18	阪中 博昭

高校ラグビーの聖地、花園ラグビー場(大阪)で全国高校大会が開催されるようになって今年で50年。半世紀の節目を記念し、初めての花園大会で決勝を戦った北見北斗高と天理高(奈良)の当時のメンバーらが来年1月、同ラグビー場で50年ぶりに再戦することになった。激戦を繰り広げた高校ラガーも、今は67歳前後と年齢を重ねたが「恥ずかしくない試合をして、ラグビーで培った友情が50年たっても続いていることを全国の人に伝えたい」と張り切っている。(大阪報道部 小野高秀)

北見北斗、天理と来年1月



北見北斗の準優勝を伝える当時の北海道新聞

今も現役で楯岡のボー

ルを追う人もおり「いつかおじさん同士でやろう」と夢見ていた試合が、



花園大会半世紀にちなんで連続で花園に出場していない母校にハッパをかける意味でも、いい試合をしたいね」と楽しみにしている。

試合は来年1月5日の第92回全国高校大会進決勝の前に行われる。優勝、準優勝メンバーのほか、世代が近い後輩に声をかけ、北見北斗は20人余り、天理は50人ほどが参加する予定だ。

北見北斗OBの尾崎さんは「日本全国から選手が集まる。1日1日が待ち遠しい」と話し、8月には北見で事前合宿も予定する。また、天理OBの田仲さんは「ここ4年

60代OBが「激突」

全国高校ラグビーは1963年1月の第42回かと言われた北見北斗は悲願の優勝にまたも届か宮球技場(兵庫)から花園に移転。決勝では天理が北見北斗と激戦を繰り広げ、8-3で勝ち27年ぶり2度目の優勝を飾った。

天理高の優勝は順当に、現在は埼玉県協会副会長の尾崎良巳さん、監督として北見北斗を12度花園に導き、校長も務めた故橋本定彦さんらの顔ぶれが並ぶ。

橋本さんが校長となり花園に出場する選手の応援に駆け付けた時は、天理の関係者が激励会を開いたと言いつつ、学校の垣根を越えて交流が続いていた。

花園ラグビー場のラグビー資料室に飾られている第42回全国高校ラグビー大会決勝の写真(右上)。「北見北斗は熊のような選手が多く粘り強かった」と天理OBの田仲さん

半世紀ぶり花園「決勝」

北見北斗 VS 天理 50年ぶり「再戦」

全国高校ラグビー（毎日新聞社など主催）が大坂・花園ラグビー場で開催されるようになって半世紀になるのを記念し、初めて花園で決勝戦を戦った北見北斗（北海道北見市）と天理（奈良県）の当時のメンバーらが、来年1月に全国大会で特別試合を披露することになった。古希に近い往年のラグビーたちが、50年ぶりに友情を交わすのを楽しみにしている。

この決勝で天理メンバーだった田仲功一・関西

高校ラグビー「花園」初の決勝



花園初の決勝で、天理を攻める北見北斗の選手（しま模様ユニホーム）＝大坂・花園ラグビー場で1963年1月9日

ラグビーフットボール協会副会長(67)が、北見北斗の選手だった尾崎良巳・埼玉県ラグビーフットボール協会副会長(67)には「不整脈でドクターストップ」を宣告された。一昨年初、特別試合を打診し実現にこぎつけた。

出場メンバーは3、4歳下のOBにも声をかけ、それぞれ20、30人を集めた。尾崎さんは「試合終了後は敵味方なしのノーサイド精神で友情を深め合いたい」、田仲さんは「みっともない試合はできない。我々のプレーで現役世代のモチベーションを高めたい」と意気込む。

試合は来年の大会の準決勝前に行われる予定。北見北斗は当時と同じ菱口一光さん(79)が監督に就任し、メンバーは9月に3日間の合宿をするなどして本番に備える。菱口さんは「余生に花を添えることになる。互いに笑い、涙し、認め合うだろう」と再会を心待ちにする。

来年1月 当時のメンバー結集

【渡部宏人】